

町政をただす



いわや 岩谷 つかさ 司 議員

問 「林道石動線」の延伸について

答 早くても8年から9年後になると予測。「林道石動線」事業採択に向けて努力していく。

町長 令和元年6月の定例会で岩谷議員から質問がありまして、早速、技術的に延伸が可能なのか、総事業費や財政負担など検討したところ、現時点での概算で事業費が3億円を超え、仮に事業を実施するとなれば、県代行事業か、あるいは町が事業主体になると思う。そこで県に確認したところ、現在進行中の「林道黒崎大間越線開設事業」が完了した後でなければ、県代行での事業採択はできないとの回答から、

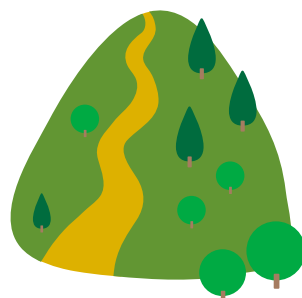
岩谷議員 岩坂地区の石動線延伸は、県道191号（通称）「柳田石動種里線」の緊急時う回路として、とても重要な路線である。なるだけ早く「県の新年度予算編成前」に4から5年の継続事業として計上していただくよう要望できないか。令和4年度には、調査費だけでも構わないと考えるが、町はどのように考えているのか伺う。



▲林道石動線

早くても8年から9年後になると思われる。また、町が事業主体となった場合は、財政面での負担が可能な判断になる。ただ、この路線が林業振興及び緊急時のう回路として重要であるとの認識には変わらないので、引き続き住民が安心して暮らしていけるよう「林道黒崎大間越線開設事業」の早期完成と、その後の「林道

石動線」事業採択に向けて努力します。



町政をただす

広域学区統合にか
ける検討協議会設置
について

問 岩谷議員

今後の少子化を考えたとき、地区の子供たちや保護者がこの学校に通学するか選択できるよう、学区統合に向けた協議会の設置が必要と思う。鱒ヶ沢町と深浦町で「広域学区統合協議会」の設置を立ち上げることは考えられないか。鱒ヶ沢町へ通学する児童・生徒が通学バスで行けるよう、未来に向けてぜひ検討していただきたいと思うが、町の考えを伺う。

答 町長

他市町村と通学区域を統合し広域化する場合、関係市町村が組合立学校を設置する方法と他市町村に教育事務を委託する方法の2つがある。今後、大戸瀬中学校の統合について検討をする際は、保護者や地域の声を集約した上で、

深浦中学校との統合のほか、鱒ヶ沢町との組合立学校の設置や鱒ヶ沢町への教育事務委託も選択肢に入れながら協議することになると思うが、その際には、御提案の「広域学区統合協議会」等の設置も含めて検討していきたい。



▲大戸瀬中学校



▲鱒ヶ沢中学校



▲深浦中学校

高齢者等が利用し
やすい役場庁舎につ
いて

問 岩谷議員

役場内には、エレベーターもなく高齢者や車いす利用者等が、2階に用事があっても行けない。
総合窓口を設置しているものの、来庁した方々の充足度は必ずしも満たされているとは言えない。

そこで、階段の昇り降りできづらい高齢者や車いす利用者等が楽に2階に行けるよう「中央階段に昇降用リフト」を設置できないものか。住民に寄り添った地域行政の推進を求めるが、町の考えを伺う。



町政をたず

答 町長

住民の皆さんが役場をより気軽に利用しやすいように、利用頻度の多い窓口を1階に配置し、総合窓口を本庁舎1階中央部の町民課に設け、様々な手続がワンストップでできるような態勢をつくってきた。

担当窓口が2階以上にある

場合でも、特に、高齢者や足の不自由な方々に対しては、担当者が利用者のいる1階に降りて手続を行うような対応を、これまで以上に徹底していきたい。



▲役場中央階段

新型コロナウイルス ワクチンの効率的な接種について

問 岩谷議員

河野新型コロナウイルスワクチン接種担当大臣が「ワクチンの接種方法は、各地方自治体に委ねる。」と発言していたが、現状をみると「あくまでもマニュアル通りの高齢者が最優先」で、キャンセルがあつて残った分のワクチンを廃棄したという自治体があつたことが報道されていた。そこで、当町のワクチン接種状況と、今後の接種計画を伺う。

また、ワクチン接種の予約をした方がキャンセルした場合の町の対応も示していただきたい。

答 町長

ワクチン接種の状況と今後の接種計画については、先ほど今議員の質問にお答えしたとおりです。また、ワクチン接種の予約をした方がキャンセルした場合の対応については、別な日を予約している方に声をかけて、当日の連絡でも接種可能な方を確保するなど、ワクチンが無駄にならないよう工夫し対応している。

